

2017年6月14日

■シグナルプロセッサーを核とした設備音響システムの機能をさらに拡充
ヤマハ ページングステーションマイクロフォン 『PGM1』
ページングステーションエクステンション 『PGX1』
ウォールマウントコントローラー 『MCP1』
L2 スイッチ 『SWR2100P-10G』 『SWR2100P-5G』

－ 設備をよりスマートに管理・運営するための音響機器、10月上旬発売 －

ヤマハ株式会社は、設備向け音響機器の新製品として、アナウンスなどの音声入力を行うページングステーションマイクロフォン『PGM1』、拡張ユニットのページングステーションエクステンション『PGX1』、ウォールマウントコントローラー『MCP1』、安定したオーディオネットワークの構築を実現するL2スイッチ『SWR2100P-5G』『SWR2100P-10G』を2017年10月に発売します。

<価格と発売日>

品名	品番	価格	発売日
ページングステーションマイクロフォン	PGM1	オープンプライス	10月上旬
ページングステーションエクステンション	PGX1	オープンプライス	
ウォールマウントコントローラー	MCP1	オープンプライス	
L2 スイッチ	SWR2100P-5G	オープンプライス	
	SWR2100P-10G	オープンプライス	

<製品の概要>

近年、カフェやレストラン、ショッピングモール、学校や会議室など大小さまざまな空間において、来場者が快適に過ごすための空間演出の手段として、内装や空調、照明に加え音響設備の重要性が注目されています。

当社では、設備向け音響のラインアップとして、シグナルプロセッサー「MRXシリーズ」、マトリクスプロセッサー「MTXシリーズ」、パワーアンプリファイアー「XMVシリーズ」「MA/PAシリーズ」、スピーカーシステム「VXSシリーズ」「VXCシリーズ」などを展開し、人数や規模に応じたレイアウトに柔軟に対応しながら、良質で明瞭な拡声や音楽再生ができるトータルソリューションを提案しています。特に「MRXシリーズ」「MTXシリーズ」は、オーディオネットワーク規格に対応した高い拡張性

と、コンポーネントを組み合わせることで用途に応じたシステムを構築できる柔軟性、さまざまな外部コントロールに対応した制御性により、高い評価を得てきました。

今回発売するページングステーションマイクロフォン『PGM1』、ページングステーションエクステンション『PGX1』、ウォールマウントコントローラー『MCP1』、L2 スイッチ『SWR2100P-5G』『SWR2100P-10G』は、店舗や学校、会議室などの施設において、「MRX シリーズ」「MTX シリーズ」を核とした音響システムをさらに拡充するソリューションです。呼び出しなどのアナウンスを行うページングマイクとその拡張ユニット、よりスマートな遠隔制御を可能にする LCD ディスプレイ搭載のコントローラーや Windows 対応ソフトウェア、そしてオーディオネットワーク「Dante」に対応する L2 スイッチが新たにラインアップに加わることで、さまざまな用途に応じたシステム構築が可能となります。

<主な特長>

1. 「Dante」対応のページングステーションマイクロフォン『PGM1』、拡張ユニット『PGX1』

『PGM1』は、「MRX シリーズ」「MTX シリーズ」と組み合わせて、ページングシステムを構築可能な 8 局対応のマイクロフォンです。ページングとは施設内でのアナウンス（案内放送）のことです。実現のためには構内に多くの配線が必要となりますが、オーディオネットワーク規格「Dante」に対応したことにより、高品質な音声データのやりとりが、複雑な経路の長距離間でもシンプルな配線で可能です。8 局の拡張ユニット『PGX1』は、『PGM1』1 台につき 2 台まで接続が可能で、1 つの「MRX シリーズ」「MTX シリーズ」システム内に最大 4 台の『PGM1』を組み込むことで、最大 96 局の運用に対応します。シグナルプロセッサ用ソフトウェア「MTX-MRX Editor」を使用すれば、複数台の『PGX1』のうち 1 台を優先マイクとして設定することも可能です。



ページングステーションマイクロフォン
『PGM1』



ページングステーションエクステンション
『PGX1』

2. 日本語対応の LCD ディスプレイを搭載したウォールマウントコントローラー『MCP1』

『MCP1』は、日本語表示が可能な LCD ディスプレイを搭載し、部屋やゾーン、機能などの名称が一目で確認可能な、「MRX シリーズ」「MTX シリーズ」を制御するためのウォールマウントコントローラーです。「MRX シリーズ」「MTX シリーズ」を核とするシステムごとに最大 16 台を配置することができ、最大 36 パラメーターをアサインすることが可能です。意図しない制御やデザインの変更などのトラブルを防ぐ PIN コードロック機能も搭載しています。さらに、設備物件の業務ワークフローに準じた使い勝手で入力から出力設定までを設計管理できるソフトウェア「MTX-MRX Editor」を用いて、任意の機能をアサインすることが可能です。



ウォールマウントコントローラー
『MCP1』

3. 対応機器をリモート制御するソフトウェア「ProVisionaire Control」を新開発

音響システムをさらにスマートにリモート制御するために、Windows 用ソフトウェア「ProVisionaire Control」を新たに開発しました。Windows PC 用ソフトウェア「ProVisionaire Control」上で制御設計を行い、Windows タブレット用ソフトウェア「ProVisionaire Control KIOSK」から制御します。既存のソフトウェア「ProVisionaire Touch」に比べ配置できる操作子の種類が多く、用途に最適なカスタマイズが可能です。また、シグナルプロセッサ「MRX シリーズ」「MTX シリーズ」のほか、ミキシングコンソール「CL/QL シリーズ」など幅広いヤマハ音響機器の制御も対応します。音響機器との通信は、無線による接続に加え有線での接続にも対応し、より高い接続安定性を実現するほか、4 段階のユーザーレベル管理設定により、安全性の高いセキュリティを確保するなど、設備用途に最適なカスタムコントロールを実現します。

* 「ProVisionaire Control」「ProVisionaire Control KIOSK」は 2017 年 7 月にヤマハ プロオーディオ サイトで公開予定です。



「ProVisionaire Control」

4. 安定したネットワークを構築する L2 スイッチ 『SWR2100P-5G』 『SWR2100P-10G』

『SWR2100P-5G』『SWR2100P-10G』は、Audinate 社が開発し世界的に活用されているデジタルオーディオネットワーク「Dante」に対応し、設定・監視・管理・運用を簡単に行え、より安定したネットワークの構築を実現する L2 スイッチです。『PGM1』『MCP1』などの PoE 対応機器への給電にも対応します。さらに、専用のソフトウェア「Yamaha LAN Monitor」によって、ネットワークの可視化と監視を実現します。PoE 給電状態の確認、PoE 給電のオン/オフ操作ができるほか、導入時と現在のネットワーク状況の差異を異常と見なして通知するスナップショット機能により、すばやくトラブルシューティングを行うことが可能です。

『SWR2100P-5G』『SWR2100P-10G』は、別売のラックマウントアクセサリ「RK-SWR」を用いて、19 インチラックに 2 台まで設置*することが可能です。

*:ラックマウントアングル間が 452mm 以上あるラックをお使いください。



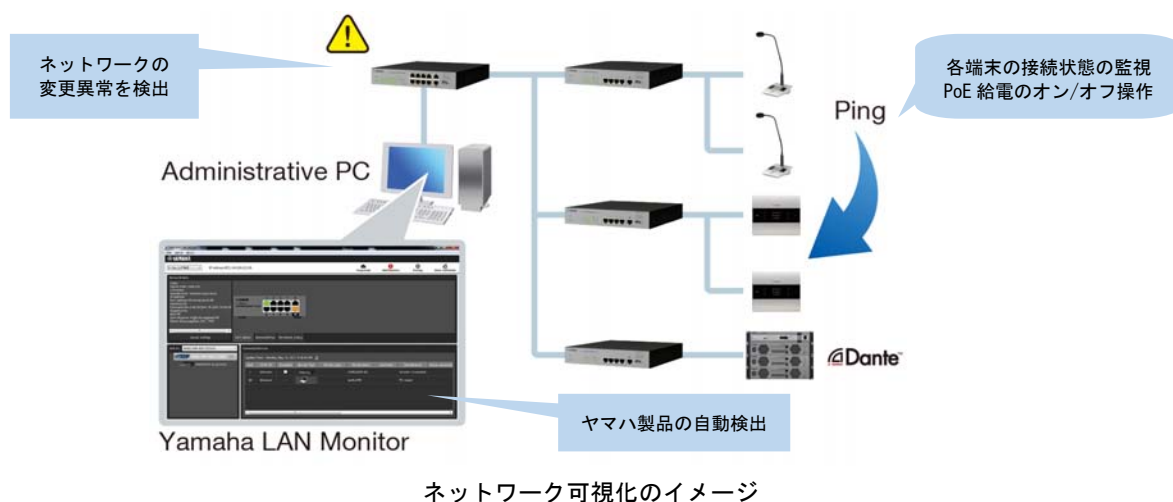
L2 スイッチ 『SWR2100P-10G』



L2 スイッチ 『SWR2100P-5G』



ラックマウントアクセサリ 「RK-SWR」



※今回の新製品の詳細については、ヤマハ プロオーディオサイトをご参照ください。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/products/>



ページングステーションマイクロフォン 『PGM1』
ページングステーションエクステンション 『PGX1』
L2 スイッチ 『SWR2100P-10G』 『SWR2100P-5G』
(写真の PC などはイメージです)

* 文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 広報部 ブランド・商品広報グループ 担当：佐藤

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/
(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA 営業部

プロオーディオ・インフォメーションセンター

TEL 0570-050-808 (ナビダイヤル、全国共通番号)

(電話受付：祝祭日を除く月～金/11:00～18:00)

ウェブサイト <http://jp.yamaha.com/support/>